カメラとコンピューターとスローイノベーション

伊　東　一　良
（大阪大学）

大阪に金剛組という建築会社がある．金剛組が神戸に作った寺院は，阪神大震災にも，びくともしなかったという．この会社は西暦578年の創業で，世界最古の企業である．韓国の銀行による2008年の調査によれば，全世界の創業後200年以上になる企業5,586社のうち，3,146社が日本に集中している．2番目がドイツで837社，オランダ222社と続く．日本には，創業100年以上の老舗企業が10万社以上あるともいう．同調査によれば，「日本経済が80年代の円高と90年代の長期不況から抜け出せたのも，先端技術を保有している長寿企業の役割が大きかった」らしい．

「不易流行」という言葉があるが，米国はコンピューターやインターネットなど，世界規模のイノベーションにつながる「流行」を創り続け，世界に貢献している．一方で，日本が世界に誇る老舗は，「不易」がその神髄であろう．人々が必要とする百年，千年続く市場を安定に成長させ，永い間守っている．ディジタルカメラは銀塩フィルムカメラを駆逐し，新しい市場を作った破壊的な商品ともいえるが，日本のカメラの老舗は，光や電子技術など先端技術を取り入れながら，事実上その世界市場を守り，拡大してきた．カメラの中で本体とレンズを比べると，一眼レフでは，明らかにレンズのほうが価格の上で主要部を占め，内容は昔と大きくは変わっていない．一方で，一眼レフがディジタル一眼となって，カメラ市場に新しい彩りが添えられ，女性や老人層などにカメラ市場が受け入れられつつある．このディジタルカメラの中で活躍しているのがコンピューターであり，新たな市場拡大の要になっている．イメージセンサーがフィルムの代わりとすれば，日本のカメラ業界は，コンピューターをはじめとするマイクロエレクトロニクスによる新風を見事に利用して，世界の老舗の地位を保っている．

軍隊や法律，国家を生み出した農耕という革新的な技術は，比較的安定に市場や社会を成長させ，人の寿命に比べてスローなイノベーションを起こした．コンピューターは，表舞台において現代社会を急変させる一方で，カメラや自動車，家電，携帯電話などさまざまな従来技術と組み合わさり，裏方に徹しながらそれらの機能を拡大し多様に変貌させつつある．コンピューターこそは，物作りに長けた老舗を大事にする日本の風土によく合った，スローで持続可能なイノベーションも生み出せる大事な技術のように思われる．